



(奈義町)

地域ケア会議から生まれた・・・

みんな つながって ばっちり ちいきでまもる

生活支援サポーターみつばち

過疎・高齢社会・ひとり暮らしの増加より「暮らしにくさ」は介護保険だけでは解決することができない状況にあります。「暮らしにくさ」を抱える高齢者の生活を支えようと町内の医師やケアマネ、介護保険事業所等の有志が行政に頼ることなく自分達の手で「生活支援サポータープロジェクト」を立ち上げサポーターを養成し活動をしています。

「みつばち」の目指すもの

- ①高齢者が安心して生活できる地域づくり
- ②地域の中で役に立ちたいと考える方たちが
自主性とやりがいを持ってボランティア活動
ができる地域づくり

写真は視力の悪い方の散歩の付き添い





(岡山県)

地域包括ケアシステム構築に向けた取組事例（様式）

①市区町村名	奈義町
②人口（※１）	6, 2 5 8 人 ()
③高齢化率（※１） (65 歳以上、75 歳以上それぞれについて記載)	6 5 歳以上 3 0 . 5 % () 7 5 歳以上 5 9 . 1 %
④取組の概要	介護保険では賅いきれない高齢者の困りごと（話し相手・散歩の同行・電球の交換・庭の草取り・野菜の支柱立て等）を支援するボランティア活動。
⑤取組の特徴	行政や社協などの主導ではなく、町内の医師をはじめとした介護保険事業関係者の有志がプロジェクトチームを結成し取り組んでいる。
⑥開始年度	平成 2 2 年度
⑦取組のこれまでの経緯	地域ケア会議でケアマネが訴えた「介護保険では賅いきれない困りごとをかかえる利用者をなんとかしたい」という声がきっかけで、地域ケア会議に参加する町内の医師、NPO 法人、グループホーム、薬局等の有志で「生活支援サポータープロジェクトチーム みつばち」を結成し、サポーターを養成して活動している。また、サポーターの地域の役に立ちたいという自主性ややりがいも大切に育てている。
⑧主な利用者と人数	高齢者 平成 2 4 年度延べ利用者数 8 2 人
⑨取組の実施主体及び関連する団体・組織	生活支援ボランティアみつばち 医師・ケアマネ・薬剤師等の有志と地域住民（ボランティア）
⑩市区町村の関与（支援等）（※２）	2 3 年度：活動交付金 800, 000 円（岡山県地域支え合い体制づくり事業費補助金） 2 4 年度：活動交付金 100, 000 円（単町） 2 5 年度：活動交付金 80, 000 円（単町）
⑪国・都道府県の関与（支援等）（※３）	平成 2 3 年度岡山県地域支え合い体制づくり事業費補助金（介護基盤緊急整備等特例基金）を活用してサポーター養成講座等を実施した。（800, 000 円）
⑫取組の課題	運営者がそれぞれ仕事を抱えているなかで、どのように運営を継続していくか。
⑬今後の取組予定	今後も継続していく。
⑭その他	
⑮担当部署及び連絡先	奈義町役場健康福祉課 0 8 6 8 - 3 6 - 6 7 0 0 生活支援ボランティアみつばち 事務局 0 9 0 - 4 8 0 3 - 3 2 8 1

※１ 一部地域に限定した実施の場合は、当該地域の人口・高齢化率を（ ）内に記載してください。

※２ 市町村から財政的支援が行われている場合には予算額等を含めて記載ください。

※３ 国や都道府県から財政的支援を受けている場合は、補助金や交付金等の名称、額等を含めて記載ください。





あはっ

日増しに寒さもつり、初雪の便りも聞こえる今日このごろですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。おかげさまで、「みっぱち」の活動も、はや2年半が経過しました。今では50名を超える生活支援サポーター＝「みっぱち」が誕生し、それぞれの思いを胸に活動されています。今回、みっぱち新聞として、昨年（平成23年）度の活動を中心に、皆さまに報告・紹介をさせて頂こうと思います。今までの活動を振り返り、そしてこれからも住み良いまちづくりのため頑張っていきたいと思います！

みっぱちのあゆみ

平成23年4月、介護保険制度だけでは高齢者を支え切れないという、風まぐらケアマネジャーの日々の悩みから「なんとかなきゃ」という思いが発端となり、奈義ファミリークリニック医師に相談。地域ケア会議に提案、有志を集い「なぎ生活支援サポーターみっぱちプロジェクトチーム」が誕生。（現在事務局…奈義ファミリークリニック マスカット薬局 グループホームやまなみ 猫の手 久永さん 風まぐら）

平成22年4月	奈義地域ケア会議で「生活支援サポーターの必要性」についてグループワーク
7月	民生委員会 ボランティア会へ みっぱちについて説明 高齢者の困りごとを調査（アンケートや聞き取り）
10月	第1回生活支援サポーター養成講座（3日間）
平成23年1月	第2回生活支援サポーター養成講座（3日間）
5月	広報紙へ みっぱち のチラシ配布
6月	みっぱちサポーターの集い「活動報告 手引き作成など」 32名参加
6月	美作県民局地域包括支援センター連絡協議会にて 奈義生活支援サポーターについて報告
9月	みっぱちのチラシ ポスターを作成（老人クラブ運動会で配布 町内に掲示 広報紙配布）
10月	みっぱちの集い「介護保険について勉強会」24名参加
11月	矢掛町社会福祉協議会視察研修で説明 交流
12月	視察研修 常設サロン「なんだ村」 旧灘崎町 18名参加
平成24年2月	みっぱちの集い「AED講習 緊急時対応」 27名参加
3月	みっぱち講演会 「支えあい 生き生きした暮らしをつくろう」 高知県立大学 小坂田 稔 教授 68名参加（みっぱち29名参加）
	美作未来づくりサミット5名参加 活動紹介
3月	男性サポーター養成講座（2日間） 男性サポーターさん5人誕生！
4月	みっぱちの集い「今後の活動について 男性サポーター紹介 囲碁ボール等）
6月	「みんなであゆえい」タウンミーティング参加 活動紹介

平成23年度みっぱちの主な活動

- *高齢者から依頼を受け、サポーターさんが訪問した個別訪問の回数 256回
（活動サポーター人数13名）
- *そのほか 自主的な訪問 サロン活動 など
- *平成22年4月～平成24年4月まで 事務局スタッフ会議 合計 40回

最近の活動の様子

Iさん女性 80歳代 ひとり暮らし 草取り、手の骨折後玉ネギを吊るして欲しい。 複数のサポーターさんが、数回訪問しました。	Yさん女性 80歳代 ひとり暮らし 話相手、一緒に草取りをしたり、掃除をしたり.. お話をしながらお手伝いをしています。
Nさん女性 70歳 ひとり暮らし 草取り、家の周囲に除草剤をまいてほしい。 複数のサポーターさんが訪問しました。	Aさん 男性 80歳代 入院中 竹が伸びているので、切ってほしい。 除草剤をまいてほしい。 男性サポーターさんが活躍中です。
Mさん 70歳代 ひとり暮らし ご主人が亡くなったばかりで不安。 ご主人がしていた溝掃除や草とりを、手伝ってほしい。 複数で2回訪問。	Hさん女性 80歳代 ひとり暮らし 話し相手、一緒に囲碁をしたり昔得意だった日本舞踊のビデオを観たりしています。 月に2回程度訪問継続中。
Oさん女性 90歳代 ひとり暮らし 右手骨折後、安否確認に不定期に訪問中。	